

TDKのグローバル知財ガバナンス：PatentSight+ Summit 2025講演内容予測

TDKの知的財産戦略は、同社の歴史的背景と現在のグローバル展開を踏まえた独自の課題と機会を抱えている。2025年5月28日に開催されるLexisNexis PatentSight+ Summit 2025において、小柴亮典氏が行う「TDKのグローバル知財ガバナンス 挑戦と課題」講演の内容を、収集した情報を基に詳細に予測分析する。

TDKの知的財産戦略の基盤と現状

TDKの知的財産への取り組みは、同社の創業理念に深く根ざしている。1935年の創業時、東京工業大学の加藤与五郎博士と武井武博士による世界初の磁性材料「フェライト」の特許譲渡を受けて事業化を実現した歴史的経緯から、知的財産は単なる権利保護ではなく、事業創造の源泉として位置づけられている^[1]。この独創の精神は現在に至るまで受け継がれ、知財戦略の根幹を成している。

現在のTDKは、世界30カ国以上、250を超える拠点に10万人以上のチームメンバーを擁するグローバル企業として成長を遂げている^[2]。特筆すべきは、売上および従業員の約90%が日本以外という事実であり、これはTDKが真の多国籍企業として機能していることを示している^[2]。このような企業構造は、知的財産ガバナンスにおいて独特の課題と機会を生み出している。

TDKの知的財産戦略は、グローバル本社としての役割を担う知的財産権センターと、米国、中国、欧州の主要グループ企業の各知財部門によって構築された知財ガバナンス体制を基盤としている^[3]。この体制により、各地域特有の知財問題についてタイムリーに対応することを可能にしている。

小柴亮典氏の経歴と専門性

講演者である小柴亮典氏は、TDK株式会社技術・知財本部知的財産権センターのゼネラルマネージャーとして、同社のグローバル知財戦略を統括している。興味深いことに、小柴氏は以前東芝で新規事業推進室のエキスパートとして活動していた経歴を持つ^[4]。東芝時代には、新規事業創造プロセスの実装や「死の谷」を越えるための仕組みづくりに取り組んでおり、研究開発と事業化の間に存在するギャップを埋める専門知識を有している^[4]。

この経験は、TDKにおける知財戦略の企画・推進において、単なる権利保護を超えた事業創造的観点からのアプローチを可能にしていると考えられる。2024年9月に開催されたTDK知財ワークショップでは、「事業戦略とR&D戦略とに基づいた知財戦略の重要性」について講話を行っており、知財とビジネス戦略の密接な連携を重視していることが伺える^[5]。

予測される講演内容の構造

第一部：TDKの知財ガバナンスにおける固有の挑戦

小柴氏の講演は、まずTDKが直面している知財ガバナンスの独特な課題から始まると予想される。特に、売上・従業員の90%が日本以外という企業構造における知財管理の複雑性について詳述されるだろう^[2]。

具体的には、多様な法制度下での権利保護戦略、クロスボーダーなM&Aを通じて獲得した企業群の知財統合、そして各国の知的財産制度の違いを考慮したグローバル最適化の課題が議論されると考えられる^[1]。TDKは「TDK United」という概念のもと、多種多様な歴史、文化、習慣を持ったチームメンバーと企業の集まりとして機能しており、この多様性が知財ガバナンスにもたらす機会と課題の両面が紹介されるであろう^[1]。

第二部：地域別知財戦略の実装事例

講演では、TDKの地域別知財戦略の具体的実装事例が紹介されると予測される。特に、米州地域本社であるTDK U.S.A. Corporation (TUC) の事例が重要な位置を占めるだろう^[6]。TUCは、カリフォルニア州サンノゼという世界最先端のテクノロジー企業が集まる立地を活用し、ソフトウェア・システム開発に特化した米州R&Dセンターを2024年春に新設している^[6]。

John Yang弁護士が統括するTUCの知財機能は、法務・知財をはじめとするガバナンス機能を提供し、グループ会社の連携を支援するハブとしての役割を担っている^[6]。この地域本社モデルが、他の地域（中国、欧州）にどのように展開されているか、また各地域特有の課題への対応策が具体的に説明されると考えられる。

第三部：知財インテリジェンスとデジタル変革

TDKは長期ビジョン「TDK Transformation」のもと、知財活動においても積極的な変革を進めている^[1]。特に、IPランドスケープを活用した知財インテリジェンス機能の強化が重要な戦略要素となっている^{[7] [1]}。

講演では、従来の権利保護中心の知財活動から、社会の大きな変革によって現れる将来の市場を見極め、将来の顧客価値創出の源泉となる知的財産を生み出すための戦略的アプローチへの転換が詳述されるだろう^[1]。特に、グリーントランスフォーメーション（GX）とデジタルトランスフォーメーション（DX）に不可欠な二次電池とセンサ技術における知的財産活用戦略が具体例として紹介されると予想される^[1]。

第四部：人材育成とグローバル組織運営

TDKの知財組織は現在、事業のグローバル化とM&Aによるグループ拡大に対応するため、組織拡充を急務としている^{[8] [9]}。講演では、多国籍人材が多数を占める組織における知財人材の育成戦略と、グローバルな知財ガバナンス体制の構築における人的要素の重要性が議論されるであろう。

TDKが年次開催している知財ワークショップの事例^[5]や、海外子会社の特許出願・権利化支援^[8]における具体的な取り組みが紹介され、グローバル組織における知財教育とマネジメントの実践的手法が共有されると考えられる。

日本企業の知財組織の将来像への考察

グローバル最適化vs.現地適応のバランス

小柴氏の講演は、日本企業の知財組織が直面するより広範な課題への考察で締めくくられると予想される。特に、グローバル経営モデルと知財マネジメントの対応関係について、学術的な枠組みを用いた分析が提示されるだろう^[10]。

マルチナショナル型、グローバル型、インターナショナル型、トランスナショナル型といった異なる経営モデルにおける知財戦略の最適化手法について、TDKの実例を踏まえた実践的洞察が共有されると考えられる^[10]。TDKの場合、多様な企業文化と法制度を統合しながら、各地域の特性を活かすトランスナショナル型のアプローチが採用されていると推察される。

デジタル技術とAI活用の展望

PatentSight+ Summitというプラットフォームの特性を考慮すると、知財分析におけるAI技術の活用可能性についても言及されるであろう。IPランドスケープの有効活用を進めるTDKとして^[2]、特許情報分析の高度化と意思決定支援における技術革新の重要性が議論されると予想される。

特に、多国籍企業における特許ポートフォリオの管理と戦略的活用において、AI技術がもたらす効率化と洞察の深化について、具体的な事例や将来展望が示されるであろう。

持続可能性と知財戦略の統合

TDKのDE&I（ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン）への取り組み^[2]と知財戦略の関連性についても触れられる可能性が高い。多様性を重視する企業文化が、イノベーション創出と知的財産の質的向上にもたらす影響について、実践的な観点から分析が提示されると考えられる。

講演の実践的価値と業界への示唆

他社への応用可能性

小柴氏の講演は、TDK固有の事例にとどまらず、他の日本企業が参考にできる知財ガバナンスのベストプラクティスを提示することが期待される。特に、M&Aを通じた急速な事業拡大を進める企業や、海外売上比率の高いグローバル企業にとって、実践的な示唆に富む内容となるであろう。

グローバル知財ガバナンスの構築において、単なる制度設計を超えた組織文化と人材育成の重要性、そして事業戦略との密接な連携の必要性について、具体的な実装手法が共有されると予想される。

知財業界の将来動向への洞察

講演では、日本の知財組織が今後直面するであろう構造的変化についても言及されるであろう。デジタル化の進展、AI技術の導入、サステナビリティ要求の高まりといった外部環境の変化に対して、知財組織がどのように適応し、進化していくべきかについて、TDKの取り組みを通じた洞察が提示されると考えられる。

結論

小柴亮典氏による「TDKのグローバル知財ガバナンス 挑戦と課題」講演は、単なる企業事例の紹介を超えて、現代の多国籍企業が直面する知財ガバナンスの本質的課題と解決策を総合的に扱う内容となると予測される。TDKの90年近い歴史と現在のグローバル展開における知財戦略の進化、そして小柴氏自身の新規事業創造における豊富な経験が組み合わせられることで、理論と実践を統合した価値の高い洞察が提供されるであろう。

特に、多様性を強みに変換するTDK Unitedの概念と知財ガバナンスの関係性、事業戦略との密接な連携による知財インテリジェンスの実現、そして日本企業の知財組織の将来像について、具体的かつ実践的な提言が示されることが期待される。この講演は、グローバル化が進む日本企業の知財担当者にとって、自社の知財戦略を再考する貴重な機会となるであろう。



1. https://www.tdk.com/ja/about_tdk/intellectual_property/tdk_intellectual_property/index.html
2. https://www.tdk.com/ja/featured_stories/entry_074-diversity_equity_inclusion.html
3. https://www.tdk.com/ja/about_tdk/intellectual_property/policy/index.html
4. <https://www.toshiba-clip.com/detail/p=6330>
5. https://www.tdk.com/ja/about_tdk/intellectual_property/news/202501_02.html
6. https://www.tdk.com/ja/about_tdk/intellectual_property/news/202503_01.html
7. https://www.tdk.com/system/files/integrated_report_pdf_2024_ja.pdf
8. https://hrmos.co/pages/tdk/jobs/XB02_25
9. https://doda.jp/DodaFront/View/JobSearchDetail/j_jid_3012132197/
10. http://www.jipa.or.jp/kaiin/kikansi/honbun/2010_03_0471.pdf